

施策番号	2312		
施策名	多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり		
概要	鉄道駅周辺の交通の利便性が高い地域においては、周辺住環境との調和に配慮した都市機能の配置と市街地環境の整備を行い、民間活力を活用しながら、にぎわいと潤いのあるまちづくりを進める。 また、地域特性に応じた商店街の活性化を図り、商業振興と一体となったまちづくりを進める。		
担当局	建設局	共管局	産業観光局・都市計画局
上位政策	231 個性と魅力あるまちづくり		

施策の評価

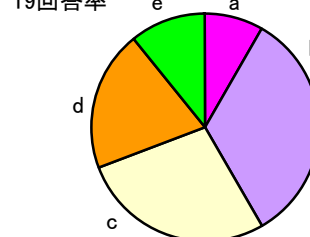
1 客観指標評価

		17年度	18年度	19年度評価				
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	地下鉄駅別乗降客数（二条駅）（千人）	b	a	6375	6723	6375	105.5%	a
2	（準）路線価（二条駅地区）（千円）	d	c	204	217	10%増	64.0%	d
3	（準）路線価（太秦東部地区）（千円）	c	c	140	150	10%増	71.0%	b
4	－	－	－	－	－	－	－	－
5	－	－	－	－	－	－	－	－
6	－	－	－	－	－	－	－	－
7	－	－	－	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－	－	－	－
		b	b	客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

設問	鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	45	8.2%	46	8.9%	39	8.4%
b: どちらかというと思う	153	27.8%	154	29.8%	156	33.4%
c: どちらとも言えない	200	36.3%	167	32.3%	128	27.4%
d: どちらかというと思わない	94	17.1%	99	19.1%	93	19.9%
e: そう思わない	59	10.7%	51	9.9%	51	10.9%
有効回答数	551		517		467	
市民生活実感評価	C		C		C	

19回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	b	b	b
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	B	B	B
重み付け	(理由)		
☒ 客観指標 ☐ 市民の実感	整備対象地域が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果がすぐに反映されにくい性質があるため、客観的指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

平成17年度から引き続き客観指標総合評価はb評価、市民生活実感調査はc評価であり、総合評価は平成17年度から引き続きB評価となった。客観指標評価については、地下鉄駅別乗降客数（二条駅）が文化施設の開業などの効果により過去最大を記録し昨年度に引き続きa評価となり、路線価（太秦東部地区）については、整備途中にもかかわらず、右京区の平均水準を上回る伸びを示し、昨年度のc評価からb評価になった。しかしながら、路線価（二条駅地区）については昨年度の下降から上昇に転じたものの、中京区の商業地などで大幅に上昇していることから、中京区の平均伸び率を下回り、昨年度のc評価からd評価になった。また、市民の生活実感については、現在平成20年1月に地下鉄開通予定の太秦天神川駅周辺での整備など、整備対象地域が限定的であること、太秦天神川駅周辺整備についても整備途上であることなどから、市民の生活実感のc評価という形であらわれたと考える。

今後とも、太秦天神川駅周辺の早期の整備に向けて取り組むなど、鉄道駅周辺におけるにぎわいと潤いのあるまちづくりを推進していく。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	京都駅南口駅前広場等整備計画調査	5,668	5,668	現状のまま継続等	都市計画局交通政策室
2	文化施設整備事業(四角形用地)	2,289	2,289	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
3	文化施設整備事業(五角形用地)	3,036	3,036	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
4	太秦東部地区土地区画整理事業	1,108,502	1,250,578	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
5	太秦東部地区第一種市街地再開発事業	2,011,472	7,203,575	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
6	太秦東部地区まちづくり交付金事業	3,280,556	2,489,953	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
7	京都市山科駅前駐車場（ラクト駐車場）	83,009	98,182	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
8	京都市山科駅自転車等駐車場	59,781	60,393	現状のまま継続等	建設局都市整備部拠点整備課
9					
10					
合計		6,554,314	11,113,675		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		6,554,314 (0)	11,113,675 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名		2312	多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり					
指標名		地下鉄駅別乗降客数（二条駅）（千人）						
担当課		拠点整備課		連絡先		8 2 2－7 4 5 3		
1 指標の説明								
地下鉄東西線二条駅における年間乗降客数								
2 指標の意味				3 算出方法・出典等				
事業によって整備した諸施設や利便性の向上等，人々の交流，にぎわいなどの事業効果を示す指標				京都市交通局調査 出典：京都市統計書				
4 数値								
	前回数値 16年度	最新数値 17年度	推移 348千人増(5.5%増)	目標値				
				数値	根拠		達成度	
数値	6375	6723		6375	過去5年間の最高値		105.5%	
	全国順位	中長期目標				備考	-	
		数値	目標年次	達成度	根拠			
数値	-	-	-	-	-			
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去5年間の上中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値）の間 e：過去5年間の下中間以下			当該地区は、現在事業の施行中であるため、整備状況に応じて乗降客数は推移していくものであり、前年度との比較によって、事業効果を評価することとし、過去最大の上昇のaから過去最大の減少のeまでを5段階に区分することで基準を設定した。 過去最大値 6,375 平均値 6,176 過去最小値 5,767			17	18	19
						b	a	a

指標名		(準) 路線価 (二条駅地区) (千円)					
担当課		拠点整備課		連絡先		8 2 2 - 7 4 5 3	
1 指標の説明							
二条駅地区土地地区画整理事業の施行地区内における路線価の平均							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
事業地区の利便性や居住環境の向上などの事業効果を示す指標			国税庁調査 出典：財産評価基準書				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	204	217	6.4%増(13千円増)	10%増	中京区平均地価公示価格の変動率(前年比)を基準として設定	64.0%	
	全国順位	中長期目標				備考	
	数値	目標年次	達成度	根拠			
数値	-	-	-	-			
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
前回数値と最新数値の推移が a：目標値以上（10%以上上回った場合） b：目標値未満（1%～10%上回った場合） c：目標値未満（+1%～-1%の場合） d：目標値未満（1～10%下回った場合） e：目標値未満（10%以上下回った場合）			路線価は全国的な状況として上昇しているため、当該地区の変動率を他の基準となる変動率と比較する必要があるため、当該地区を含む中京区の平均地価公示価格の変動率を基準とし、5段階区分で基準を設定した。 中京区の変動率 16.1%（変動率は前年比）		17	18	19
					d	c	d

施策名	2312	多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり				
指標名	(準) 路線価 (太秦東部地区) (千円)					
担当課	拠点整備課		連絡先	8 2 2 - 7 4 5 3		
1 指標の説明						
太秦東部地区土地区画整理事業の施行地区内における路線価の平均						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
事業地区の利便性や居住環境の向上などの事業効果を示す指標			国税庁調査 出典：財産評価基準書			
4 数値						
	前回数値 17年度	最新数値 18年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	140	150	7.1%増(10千円増)	10%増	右京区平均地価公示価格の変動率(前年比)を基準として設定	71.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果	
前回数値と最新数値の推移が a：目標値以上(10%以上上回った場合) b：目標値未満(1%～10%上回った場合) c：目標値未満(+1%～-1%の場合) d：目標値未満(1～10%下回った場合) e：目標値未満(10%以上下回った場合)		路線価は全国的な状況として上昇しているため、当該地区の変動率を他の基準となる変動率と比較する必要があるため、当該地区を含む右京区の平均地価公示価格の変動率を基準とし、5段階区分で基準を設定した。 右京区の変動率 3.6%(変動率は前年比)			17 18 19 c c b	